



(その四)

工場又は事業場の名称	J X日鉱日石エネルギー(株) 市川油槽所
------------	--------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

削減率の算出、実績削減率の算出  
C評価

イ 課題と対策

対策は以下の通りとなる。(炭化水素回収装置の通年運転、貯蔵タンクは浮き屋根式を使用。)

平成25年度は船橋油槽所と統合(平成24年7月船橋油槽所閉鎖廃止)のため、排出量が増加したが、平成27年度は減少の見込み。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社クラウンパッケージ 東京工場輪転印刷課
------------	----------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	小西紙業株式会社 関宿工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成22年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

使用量が増えないよう作業方法の改善により溶剤使用量を削減する

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。









(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社ユーワ 本社工場
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。 <input checked="" type="radio"/>
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 トーカン
株式会社 トーカン	

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 9									

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>当社が使用している揮発性有機化合物はトルエンです。現状の主力製品を生産する過程で接着剤希釈に使用している。この接着剤を使用しない製品を開発、切り替える事でトルエンの使用量を削減する。</p> <p>切り替えは順調に推移しているが、全体の生産量の増加に伴い削減率は計画を下回ってしまった。また、来年度以降 (27年度) はさらに切り替えが進む予定である。</p>
---

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 トーカン
	株式会社 トーカン

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="checkbox"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

課題：製品切り替えがスムーズに移行されているが、全体の生産が多く(17%増)

26年度(計画年度)は目標削減率に達成しなかった。

対策：新規開発品の改良をすすめ、従来品の比率を下げる事でトルエンの使用量を

下げていく。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	ユニオンペイント株式会社 千葉事業所
------------	-----------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成26年度	平成27年度以降
①	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

### イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	セイコーインスツル株式会社 高塚事業所
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>1) 手直し等に要する薬品使用量の削減のための継続的な削減活動に取り組む。</p>
<p>2) 老朽設備を計画的に更新する。</p>
<p>3) 揮発性有機化合物等の化学物質使用状況の適切な把握と管理を実施する。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。









(その四)

工場又は事業場の名称	サカタインクス (株) 東京工場
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<課題>
-----
-----
-----
<対策>
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。































(その四)

工場又は事業場の名称	穂高 株式会社 松戸工場
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概4順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

① 蒸留したパークロロエチレンの回収率を上げるためのコンデンサの洗浄を行う
② パークロロエチレン洗浄機の品物投入口、廃液掻き出し口のパッキンの交換頻度を 上げることによりパークロロエチレンの漏洩を削減する
③ 石油用タンブラー乾燥機の回収機付き割合の増加を検討する。
④ パークロロエチレン洗浄機からの廃液用バケツ(一時受け)を密閉することで揮発を 防止する

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	日立化成株式会社 松戸事業所
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 21 年度以前	平成 22 年度以前	平成 23 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 恵比寿加工 野田はやま工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	5 6	2 1	3 2	9 1	5 4				

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1. 非揮発性有機化合物化の検討 (水溶性)。
対策2. 排ガスを蓄熱式脱臭装置に送り、燃焼させ、99%のVOC除去を図る。 平成19年3月の工場立ち上げ時より実施、実測値99%除去。
対策3. ふた閉め等を徹底し溶剤管理を図っている。
対策4. 冷却装置の増設により蒸発量の減少を図った。
対策5. 品質管理を徹底し、不良率の減少を図り、溶剤使用量を削減する。
対策6. 排ガスを直火式脱臭装置に送り、燃焼させ、99%のVOC除去を図る。 平成25年4月の新設備の立ち上げ時より実施、実測値99.9%除去。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 恵比寿加工 野田はやま工場
------------	-----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

課題	平成25年3月に増設した設備の生産量が徐々に増加している。 平成26年度は概ね予想通りの生産量であった。 平成27年度も同等の生産量の増加が、予想される。
対策	(1) 非揮発性有機化合物の材料の検討(水溶性) (2) 排ガスを蓄熱式脱臭装置及び、直火式脱臭装置に送り99%のVOCの除去を図る。 (3) ふた閉め等を徹底し揮発を防止する。 (4) 夏期の工場内の気温は適度に保ち、揮発を防ぐ。 (5) 品質管理を徹底し、不良率の減少を図り、溶剤使用量を削減する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	甘糟化学産業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。